

# 「お出かけ統合」に向けた話題提供 ～人口1400人の村の社会福祉士の観点から～

にしあわくらモビリティプロジェクト代表／社会福祉士

猪田 有弥

(2018-2020年度 岡山県西粟倉村地域おこし協力隊)

## 自己紹介

▶所有資格

**社会福祉士  
国家資格キャリアコンサルタント**

**専門社会調査士**

**運行管理者(旅客)  
地域限定旅行業取扱者試験合格  
自動車普通二種免許(MT)**

**古物商(金券ショップ)**

▶役職

**(公社)岡山県社会福祉士会理事**

**岡山県スクールソーシャルワーカー  
(会計任用職員)**

**(一財)西粟倉むらまるごと研究所  
客員研究員  
など**

**目指せ、一人多職種連携！**

# 西粟倉村の場所

鳥取空港経由だと  
羽田＝西粟倉  
最短3時間！

鳥取駅まで  
バスで46分。  
1,200円

佐用＝鳥取間の  
鳥取道は  
通行料無料！

鳥取空港から  
車で50分。

津山から  
車で50分。

京都南ICから  
車で120分。

美作(湯郷)から  
車で45分。

姫路駅から  
バスで78分。  
1,800円

伊丹空港から  
車で90分。

岡山駅から  
鉄道で最短70分  
(3,600円！)  
車で110分

一番近いGMSは  
マックスバリュ佐用  
(兵庫県)



公益財団法人

トヨタ財団

## 国内助成プログラム

「しらべる助成」(2019.4－2020.3)

「そだてる助成」(2020.4－2022.3 ※延長申請へ)

### 【そだてる助成】

「村民の“動くを楽しむ”をサポートする、にしあわくらモビリティセンターの立ち上げ」  
(にしあわくらモビリティプロジェクト)

岡山県西粟倉村において、需要喚起型ツアーや多世代交流型移動サロンを活用した野菜交換マッチング事業などを実施して、快適な移動が制限されている人たちを掘り起こして、地域福祉×モビリティの視点に立った、新しい移動支援事業を展開する実験的な事業です。

MaaS時代に対応した中山間地域の移動技術につながる可能性があり、社会的に興味深いプロジェクトと評価されました。さらに、他の過疎地域の交通問題を解決するようなモデルとなりうるとのコメントもありました。

## 村内での福祉×モビリティ的な取り組み

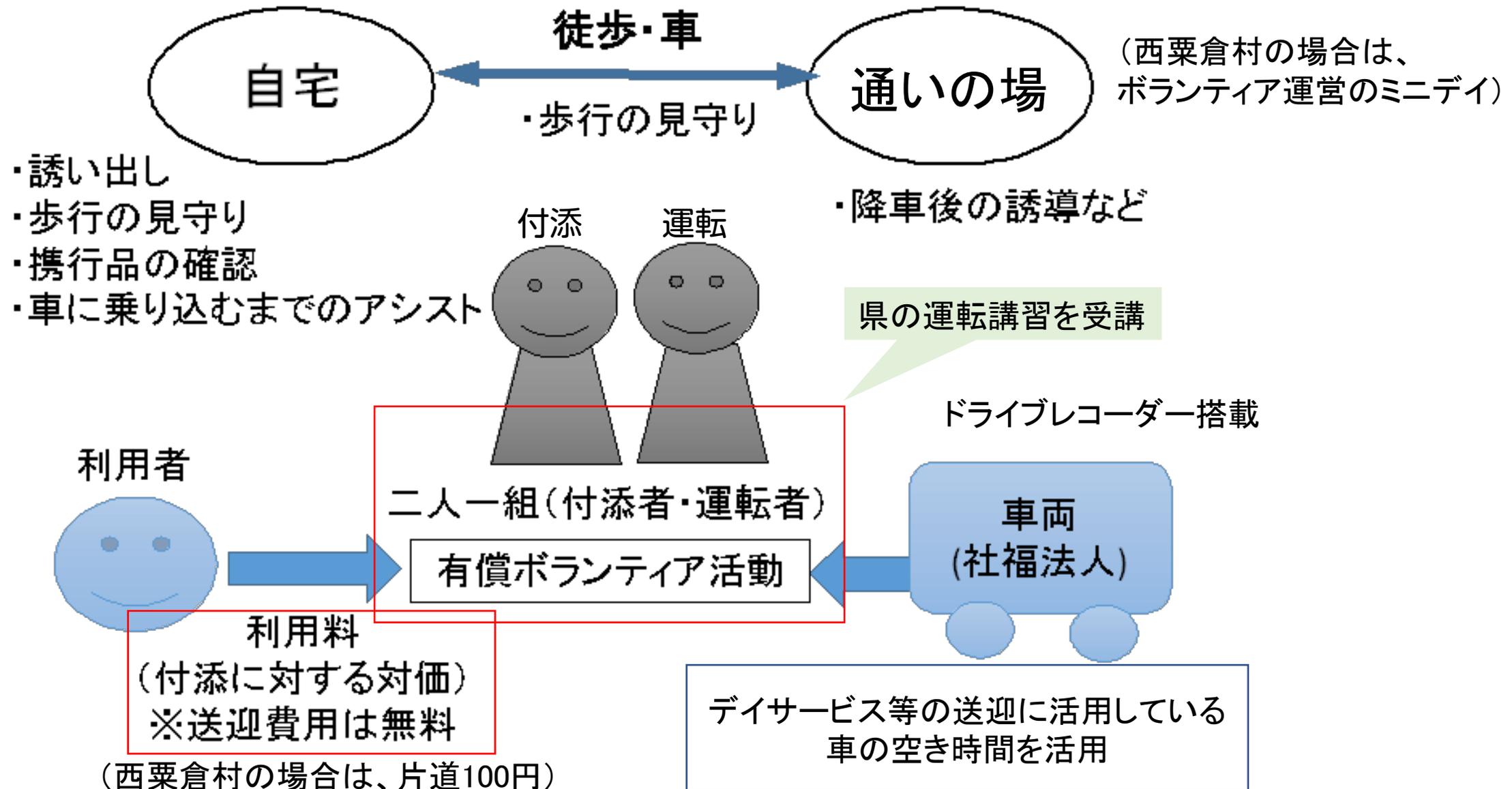
2018年に移住後、約2年間は「マイカーなし」で、夫婦二人で暮らす“社会実験”的暮らし。○（今はKINTOでヤリスをリース中）

村内移動のため、EV-TUKTUKを2021年5月導入、「超小型EV」のある暮らしをしている。

「通所付添サポート事業」を通じて、二人一組の誘い出し移動サービスを地域住民と共に運営している。

# 通所付添サポートによる有償ボランティア送迎 (イメージ)

岡山県長寿社会課の資料を一部修正



「通所付添サポート事業」による二人一組の誘い出し移動サービスのメリット

**2名1組で行くと、利用者が仮に一人でも、その場が3人になり、コミュニティがうまれる！**

関係性が属人化しない  
ため、**利用者が仲間を誘いやすい。**

薄く広い関わりの方が、  
長期的にみると**維持・持続コストが下がる。**

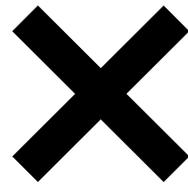
福祉の仕事の基本作法を一言で表すと…

# 観察と記録

これに尽きる。

## 福祉の主要5分野

高齢者  
障害者  
子ども・子育て  
生活困窮  
地域福祉



## 公共交通

鉄道  
バス  
タクシー  
船  
航空

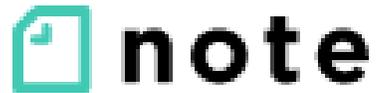
例

# 「相談」

福祉分野では“福祉サービスをつなぐ”の意味の業界用語

# ありがとうございました。

ご連絡・お問い合わせ  
uracurry@gmail.com  
090-3925-3363



yinoda で  
検索を！

